

リーディングDXスクール事業【実践事例】

奈良市立鼓阪北小学校

【取組内容】 書く力の向上

2学期より、各教科において、1人1人のめあてや、授業終わり・または単元終わりの振り返りを書く（またはタイピングで打つ）ことを徹底して行うようにしました。はじめは分量も少なく、中身も伴わないものが多かったですが、「量を書く（打つ）」指導やどのようなことを書けばよいのかという指導を行うことで、徐々に質・量ともに伴った個性豊かな表現で自分の思いを表現する子どもがたくさん出てくるようになりました。

1年生では、日々の生活の振り返りをデジタルノートに打たせて提出させる活動を毎日行ったり、子どもが一定字数を超えるとセルの色が変わるように設定したスプレッドシートに振り返りを記入したりすることで、子どもの書く意欲を高める工夫を行ってきました。また、ループリックを活用することで、子ども自身が書いたことに対する自分自身の到達度の見取りを行うことができるようにしました。

